

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
解剖生理学V	1年次	必修	講義	1単位（30時間）	竹内 法子

授 業 概 要

人体の基本的な構造および生体の機能と仕組み、身体内外に起こる諸現象とその要因など、いわゆる生命現象を知る科目である。各器官系別に、緻密で精妙な生体の構造形態と機能の基本的な特性、また、病態との関連性についても、マクロ・ミクロの両面からアプローチし、恒常性の維持に関する内容も含めて解説する。

到 達 目 標

- ・骨や関節など骨格系の構造と形態および機能について、その特徴を理解し説明できる。
- ・筋や腱など筋系の構造と形態および筋の種類とそれぞれの特徴をふまえた機能について理解し説明できる。
- ・皮膚とその付属器の構造と構成および機能、ターンオーバーについて理解し説明できる。
- ・温度の異常に対する皮膚の反応やその度合、注射部位の違いによる影響について理解し説明できる。
- ・放射線の人体に対する影響について、細胞の代謝形態とともに理解し説明できる。

実務経験のある教員

回	学 習 内 容	担当教員
1	骨格系：骨の働き、形状の分類と骨の構造	竹内 法子
2	：骨の発生と成長	
3	：骨の連結（縫合と泉門、関節）、人体の骨格（頭部、体幹、上肢、下肢）	
4	筋系：骨格筋の構造と機能－筋の構成（筋物質）、明帯と暗帯、起始と停止、筋の補助装置、収縮のメカニズム	
5	：骨格筋の構造と機能－収縮の種類と熱の発生、筋の強縮、持続的収縮、速筋と遅筋	
6	：骨格筋の構造と機能－筋のエネルギー代謝と運動時の酸素量、筋の疲労、	
7	：骨格筋の構造と機能－運動単位と神経支配比、運動の異常（萎縮、麻痺）	
8	：全身の主な骨格筋（頭頸部、胸腹部、背部、上肢、下肢）	
9	：心筋の構造と機能	
10	：平滑筋の構造と機能	
11	皮膚：皮膚の機能、皮膚の構成、表皮の構成と機能	
12	：真皮の構成と機能、皮下組織	
13	：皮膚の付属器（角質器、皮膚腺）	
14	：火傷と熱傷、薬物の投与経路	
15	放射線感受性と放射線障害	

学 習 方 法

- ・教科書および参考書を基本に、配付資料も加えて授業を行う。
- ・配付資料は内容を理解して、授業および自習に活用する。
- ・講義内容を十分に復習し、理解を深めること。

評 価 方 法

- ・第2回講義以降、前回までの講義内容に関する小テストを、隔回または不定期で行う。
- ・定期試験(70%)および小テスト(30%)により総合評価する。
- ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。
- ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。

先 修 科 目

教科書、参考書

〔教科書〕

人体の構造と機能 第5版	内田さえ、佐伯由香、原田玲子	医歯薬出版株式会社
ぜんぶわかる人体解剖図	坂井建雄、橋本尚詞	成美堂出版
新編 カラーアトラス組織・細胞学	岩永敏彦、木村俊介、小林純子	医歯薬出版株式会社

〔参考書〕

標準臨床検査学 基礎医学 人体の構造と機能	岩谷良則	医学書院
最新臨床検査学講座 解剖学	秋田恵一、星治	医歯薬出版株式会社
最新臨床検査学講座 生理学	奈良信雄、和田隆志	医歯薬出版株式会社